



**東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。**

## ◆ エスロハイパー現場リポート29 「仮設住宅への配水管敷設工事」

釜石市鶴住居町に建設中の仮設住宅への仮設配水管として、融着接合による一体管路形成と柔軟性による生曲げ施工が可能な、水道配水用ポリエチレン管「エスロハイパーJW150」が採用されました。

### ■ 施工概要

釜石市水道事業所様から、5月連休中に工事を完了させたいが市内業者も人手不足とのことで、釜石市管工事組合様での施工に当社も協力。

施工は露出配管で道路横断や民家の出入口のみ浅埋設。EF接合は工程別の流れ作業方式で2名1組が管を受口に次々と挿入・固定していき、その後を追ってEFコントローラ2台各1名が通電していき、1日最大99箇所接合の495m/日を記録。浅埋設や緩やかな曲線部はエスロハイパーの柔軟性を利用して生曲げで対応し、ベンド類を大幅削減。



① 県道35号沿い(生曲げ配管)



② 陸付3本15mを人力で挿入、EF接続後生曲で埋設



③ 管を接続後、生曲で避けて掘削、人力で溝に投入



④ 津波被災現場での施工(埋設)状況

**一日も早い入居に向け、仮設住宅への配水管敷設に微力ながらお役に立てたのではないかと考えます。積水化学は今後も被災地復興のため、震災復旧支援に全力で取り組んで参ります。**